

となどから「事前に秘密に計画された、北朝鮮軍の悪意ある先制の奇襲攻撃」と結論づけた。北朝鮮側に責任者の処罰と再

前10時ごろ、北方限界線(NLL)南の大延坪島の西方海域で、北朝鮮の警備艇2隻が2方向から同線を越えて相次いで南

負傷の被害を受け、その後沈没した。韓国艦艇の増派もあって、北朝鮮艇1隻も砲撃・銃撃を受けて火炎をあ

を探知し、追撃の中止を指示した。韓国側が当初、被害は北朝鮮側より軽微だと判断したため、より強い反

動脈硬化関与の遺伝子

東大グループ 新薬開発の可能性

血管の修復や生成の際

に働き、動脈硬化やがんの増殖に関与している遺伝子を東大の新藤隆行助手、永井良三教授らが発見、8日、米医学誌ネイチャー・メディスン(オンライン版)で発表する。動脈硬化などの新薬や治療法の開発につながることを期待される。

発見したのは遺伝子「KLF5」。動脈硬化などが起きる際に活発に働き、細胞の増殖や分化に関係する別の遺伝子の

スイッチを入れる。

研究チームは、マウスを使って両親から受け継いだ二つのKLF5遺伝子のうち一つだけが働くように遺伝子进行操作。遺伝子が作り出すたんぱく質の量を半分にして、普通のマウスと比べた。

血管に傷がつくと、普通のマウスは傷を修復するときに炎症がおこり、血管の壁が厚くなって動脈硬化の状態になる。ところが遺伝子操作をしたマウスは、こうした変化

が抑えられた。また、普通のマウスにがんを移植すると、がんのまわりに新たに多数の血管ができ、がんに栄養を送るが、遺伝子操作マウスではこうした血管新生は、ほとんど起こらなかった。

遺伝子がつくるたんぱく質の量が半分になったことで、動脈硬化や血管新生に大きな変化が生じたためとみられる。研究チームは、KLF5と一緒に働く遺伝子を突き止

め、その遺伝子の働きを抑えることで動脈硬化や血管新生を抑えられることも確かめた。チームでは、詰まった血管を広げる治療の後に、再び血管が詰まることを予防する新たな治療法の開発を検討している。

韓国国民 W杯すんで



激減。社員が「W杯がわかって仕事の手につかない」と訴える職場も少なくないという。金大大統領は「W杯を国運

外国人労働者受け入れ提案

「高学歴 手続き軽減

外国人労働者の受け入れ策について、厚生労働省の外国人雇用問題研究会が報告書をまとめた。少子高齢化が進み、各国

の間で有能な人材の獲得競争が激しくなっている流れを踏まえ、外国人労働者受け入れの目的を、高度な能力を持つ人材の獲得と労働

の2点に受け入れられている。

博士号以